

(有) 静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
 ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230 いちご薬局 TEL055(946)6430

带状疱疹はワクチンで予防できます！

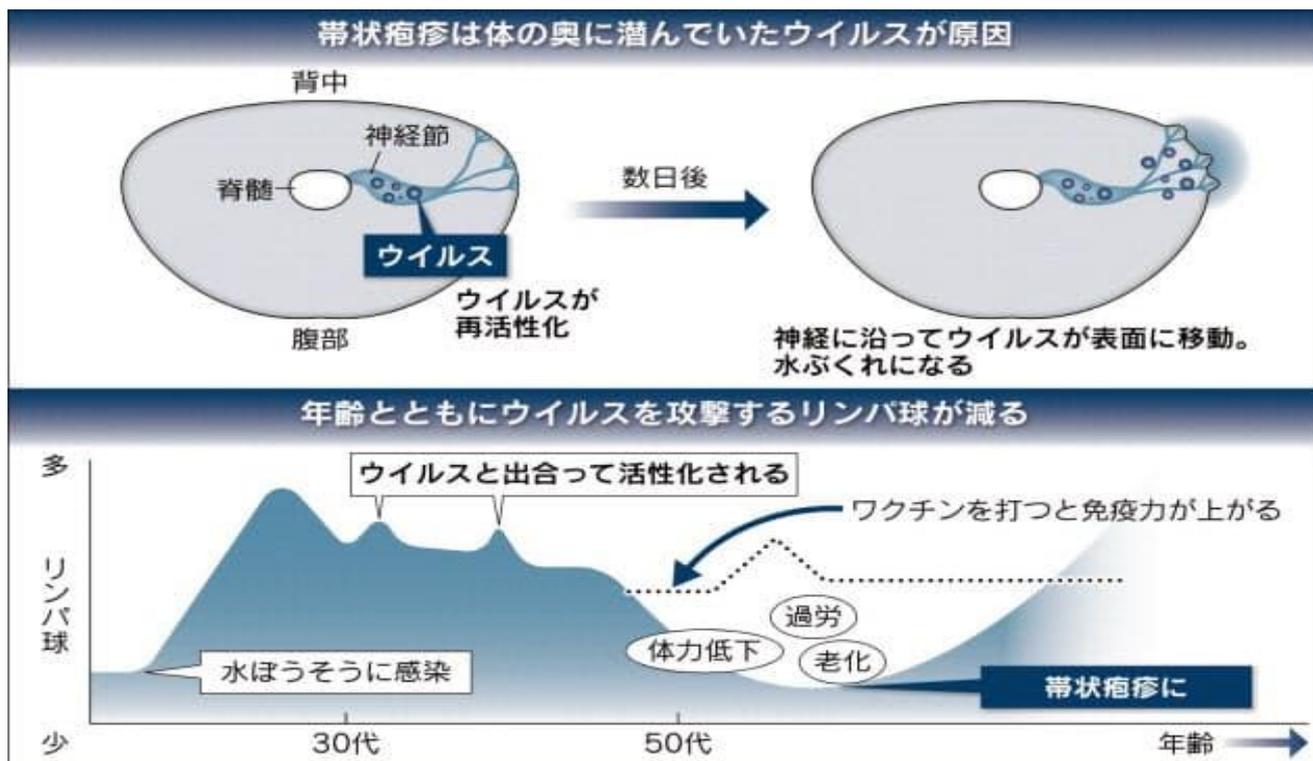
激しい痛みを伴う带状疱疹(ほうしん)は、5~7人に1人が一生のうち一度は発症するといわれており、50歳以上の発症が多く見られます。

【症状】

带状疱疹は、加齢や過労、ストレスなどで免疫の働きが低下して発症すると考えられています。がんや糖尿病、アトピー、膠原(こうげん)病や妊娠がきっかけになる場合もあります。チクチク、ピリピリする痛みが起こった後、数日で体の左右どちらか片側に赤い発疹ができて帯状に広がり、水ぶくれになります。発疹がしやすいのは胸、腹部、背中、顔、頭部など広範囲です。重症化すると、顔や頭部では視力障害が起こったり、顔面神経マヒを起こして口が閉じられなくなったりもします。

【原因】

带状疱疹の原因は子どもの頃に感染しやすい水ぼうそうウイルスです。水ぼうそうが治った後もウイルスが体内の神経節に残っていて、これが何らかの要因で再活性化したときに発症するのが带状疱疹です。ほとんどの人が原因ウイルスに感染しており、誰にでも発症する可能性があります。



【治療】 ※なるべく早く治療を始めるのが重要です。

治療には抗ウイルス薬(薬品名:アシクロビル、バラシクロビル等)や鎮痛剤(薬品名:ロキソニン等)を使います。まれに完治した後も痛みが続く場合があり、**帯状疱疹後神経痛**と呼ばれています。帯状疱疹後神経痛は、高齢者や過労などで体力が落ちている時や、帯状疱疹による皮膚の症状が激しいときに起こりやすいといわれています。



【帯状疱疹にかかったら…】

まずは体を休めます。水ぶくれが乾いてかさぶたになったら、日常生活にできるだけ早く戻すようにします。高齢者の場合は1週間寝込むと筋肉の量が落ちます。筋肉が落ちると、少し動いただけで痛かったり、思うように動けなくなったりします。そのまま動かないとさらに筋肉が減ります。痛いからといっていつまでも寝込むと、神経痛か筋肉痛かわからなくなります。少しずつ元のペースに戻すよう努めましょう。

* 予防接種について *

乳幼児では水ぼうそうを防ぐため、2014年10月から水痘ワクチンの定期接種が始まりました。中身はあらかじめ毒性を弱めたウイルスです。乳幼児で水ぼうそうの定期接種が始まり、水痘患者の減少が期待できますが、逆に帯状疱疹の患者は増える可能性があると言われていました。



厚生労働省は、水痘ワクチンの効果・効能に **50歳以上の帯状疱疹の予防の追加を承認しました。** ワクチンで帯状疱疹も防げると疫学調査で分かり、欧米では定期接種が進んでいます。

帯状疱疹は痛みが長引く場合もあり、高齢者では発症をきっかけに寝たきりになる人もいます。専門家はワクチンでの予防を推奨しています。

【費用や効果は??】

大人のワクチン接種では全額自費で、費用の目安は **1万円前後**で、効果は **10年程度**とされています。

【どんな人が接種した方がいいの??】

特に独り暮らしの高齢者や、若い人でも忙しい毎日を送る人などは接種を推奨されています。

【ワクチンを打った後体調を崩したら?】

ワクチン接種による健康被害はまれですが、万が一、生じた場合、副作用の救済措置の対象となります。詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

